

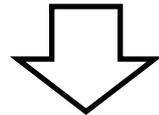
我が国企業の『成果の出し方』の変遷

第一世代 (1945-1975) 強い会社→社員は部品。反復作業、ルーティンワーク。

第二世代 (1975-現在) 賢い会社→社員は“機能”。知識労働、ルーティンワーク。
(第一世代的ワークも残る)

第三世代 (これから) 志高い会社→社員は創造者。知識創造、ノンルーティン。
(第一、第二世代的ワークも残る)

加えて、少子化。労働力人口は大きく減少する。



「個」の創造生産性を可能な限り高めること

目的は創造生産性を高めること

①第一段階としての「脱・プレゼンティズム」

②健康経営の推進

～戦略的健康経営のすすめ

③本気のダイバーシティ&インクルージョン

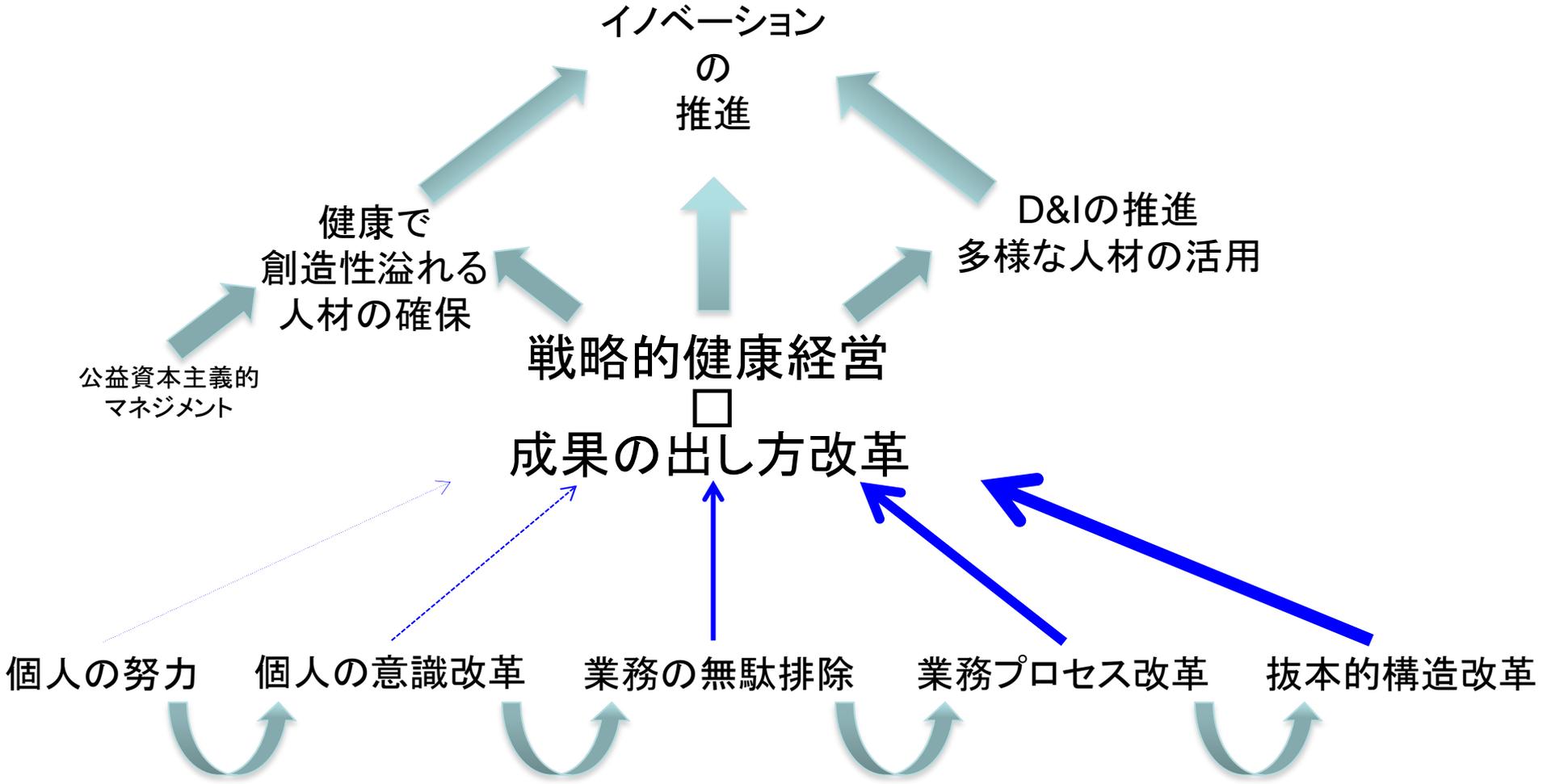
『働くこと』

で価値を生むのではない

『創造すること』

で価値を生む

これからの組織マネジメント



健康経営もダイバーシティの推進も、
根本的な成果の出し方改革が絶対条件！！